

追加型投信 / 内外 / 株式

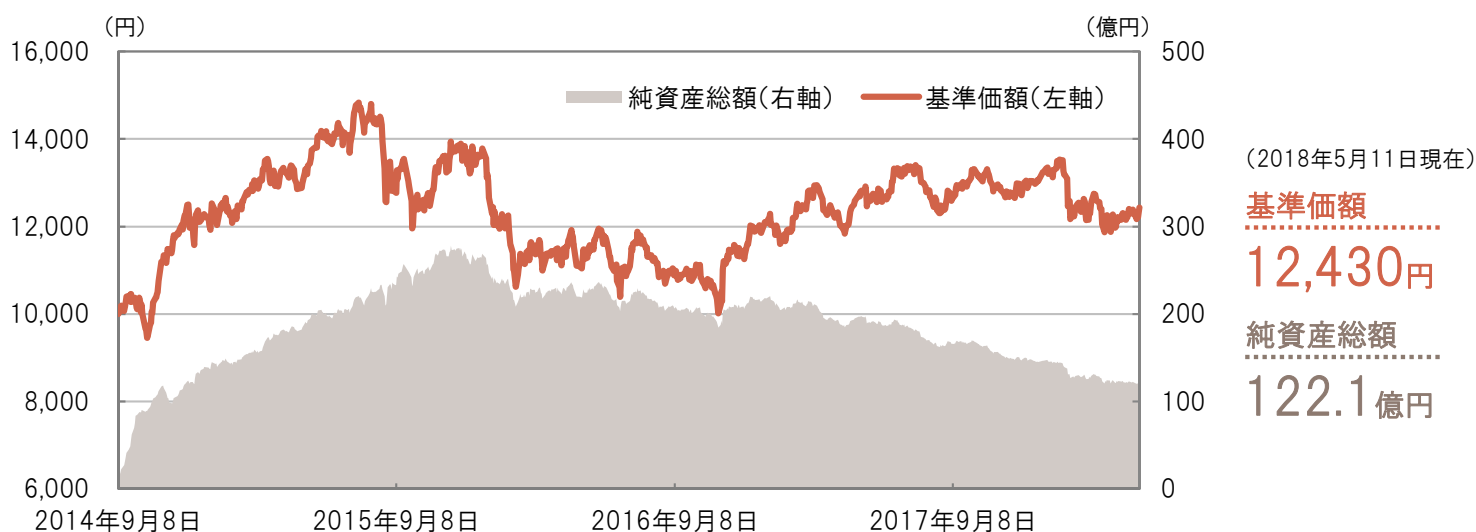
# 世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉 2018年初来の運用状況について

ファンド情報提供資料  
データ基準日: 2018年5月11日

※ 本資料は、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、「ウエルトン社」ということがあります。)のコメントをもとに三菱UFJ国際投信が作成しています。

平素より、「世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
本資料では、2018年初来の運用状況についてご説明いたします。  
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 基準価額等の推移(期間:2014年9月8日(設定日)~2018年5月11日)



- ・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・当ファンドは、基準日時点での分配金の支払い実績はありません。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

## 株式市況の推移

### 〈先進国ヘルスケア株式と先進国株式の動き〉(現地通貨建て・税引き前配当込み)

(期間:2014年9月8日~2018年5月11日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

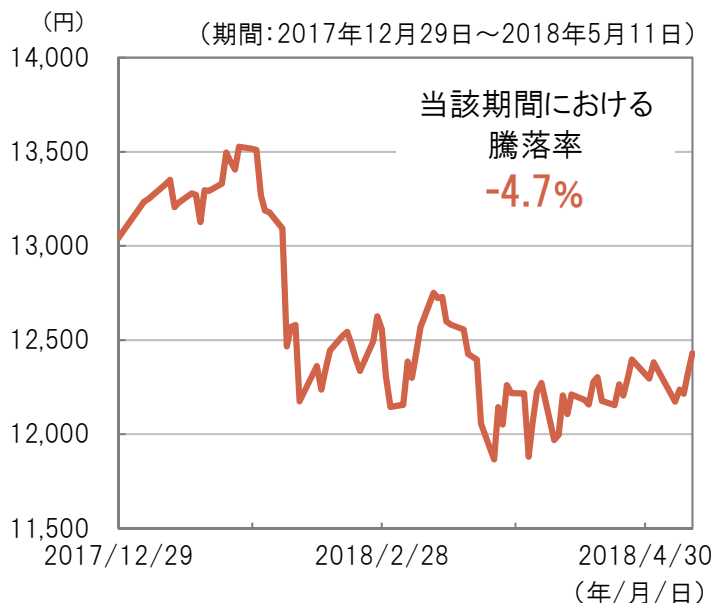
- 上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
- 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

## 世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉

## 年初来の運用状況

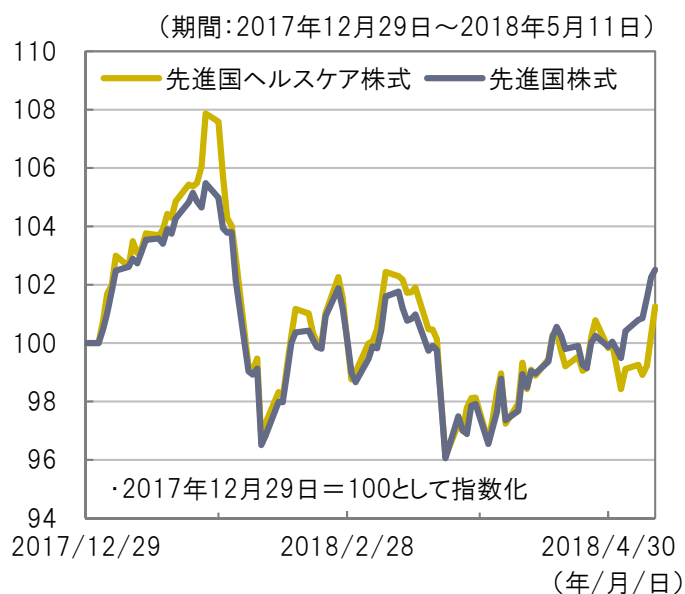
- 先進国株式は、2018年1月下旬にかけて米国の税制改革期待などから上昇しました。その後、2月上旬にかけて、米国の利上げペースの加速懸念などを背景に下落しました。2月中旬以降は、米国の金融政策や通商政策への警戒感などから下落する場面があったものの、北朝鮮に対する地政学リスクの後退や米国の保護貿易主義政策への警戒感が和らいだことなどから上昇しました。
- 先進国ヘルスケア株式については、1月下旬に米国企業3社(インターネット通販大手のアマゾン・ドット・コム、投資会社バークシャー・ハサウェイ、金融大手JPモルガン・チェース)によるヘルスケア業界への参入が報じられたことなどから下落したものの、概ね先進国株式と同様の動きとなりました。セクター別では、バイオテクノロジーや医薬品などのセクターが下落した一方、ヘルスケア機器・用品やライフサイエンス・ツール/サービスなどのセクターが上昇しました。
- 当ファンドは、年初来から3月末にかけては先進国ヘルスケア株式と概ね同様の動きとなりました。バイオテクノロジーや医薬品セクターにおいては、3月に米国製薬大手メルクとの戦略的提携を発表したエーザイの株価が上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。4月から5月にかけては、米国製薬大手 Bristol-Myers Squibb とメルクが発表した非小細胞肺癌のがん免疫治療薬の併用についての臨床試験結果において、メルクの併用組み合わせの方が優勢とみられたことなどから、Bristol-Myers Squibb の株価が下落したことが基準価額にマイナスに影響しました。また、年初来から5月にかけてヘルスケア機器・用品やライフサイエンス・ツール/サービスセクターにおいては、好調な業績成長が好感された銘柄を中心に上昇しました。体への負担を減らすための医療機器を多く開発するボストン・サイエンティフィックや、人工心臓弁やカテーテルなどに強みをもつエドワーズ・ライフサイエンス、新薬の開発に必要な分析装置等を手掛けるサーモ・フィッシャー・サイエンティフィックなどの株価が上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。
- 為替については、3月中旬にかけて円高・米ドル安となったことが基準価額にマイナスに影響したものの、その後円安・米ドル高となったことがプラスに寄与しました。

## 年初来の基準価額の推移



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

## 年初来の株式市況の推移



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

## 世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉

## 今後の市場見通し、運用方針

## 【市場見通し】

ヘルスケアセクターは投資妙味が高いとみています。①バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや米国食品医薬品局(FDA)による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、②新興国の人口増加や経済成長に伴う所得増加、③先進国を中心とした世界的な高齢化の進展などを背景に、今後もヘルスケアセクターの中長期的な成長が見込まれています。

医薬品の分野ではがん免疫治療薬、アルツハイマー型認知症治療薬、遺伝子治療薬の分野に着目しています。トランプ政権のもとでは、医療費の抑制により医薬品や医療サービスに対する価格抑制圧力は続くと考えていますが、引き続き技術革新を伴う新薬については適正な価格設定がなされると考えています。こうした中、開発中の新薬や新技術の獲得などを目的としたM&A(合併・買収)により、がん免疫治療薬では複数の勝ち組企業が残るとみています。また、日本企業では最大規模となる見込みの、武田薬品工業によるアイルランドの医薬品会社シャイアーの買収合意が報じられましたが、世界的に見ても、特に米国企業ではトランプ政権による税制改正などもあり、引き続き活発にM&Aが行なわれると考えています。医療サービスの分野では一時期懸念されていたアマゾンの医療サービス分野への参入の見通しが後退したことや後発医薬品の価格低下圧力が緩和傾向にあることなど環境が好転しつつあります。また、医療サービス分野では垂直統合型の再編が継続し、コスト引き下げ圧力が一段と高まることが予想されます。それに伴い、医療機器分野でも規模や革新的技術、新たなビジネスモデルを求めた再編が加速するとみています。

## 【運用方針】

今後の運用方針に関しましては、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力や、バイオテクノロジーなどの技術の発展により、将来的に企業間での競争に差がつくと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えています。したがって、引き続き個別企業の中長期的な収益成長力などを評価し、銘柄を厳選していく方針です。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 70)

	銘柄名	国	業種名	比率
1	ユナイテッドヘルス・グループ	米国	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	5.7%
2	ブリistol・マイヤーズ スクイブ	米国	医薬品	5.3%
3	メトロニク	米国	ヘルスケア機器・用品	4.1%
4	イーライ・リリー	米国	医薬品	4.1%
5	ノバルティス	スイス	医薬品	3.8%
6	ボストン・サイエンティフィック	米国	ヘルスケア機器・用品	3.8%
7	アストラゼネカ	英国	医薬品	3.7%
8	アラガン	米国	医薬品	3.6%
9	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	米国	ライフサイエンス・ツール/サービス	3.0%
10	エーザイ	日本	医薬品	2.5%

・「組入上位10銘柄」の比率はマザーファンドの対純資産比率です。なお、純資産総額に対するマザーファンドの組入比率は99.0%です。

・表示桁数未満で四捨五入している場合があります。

・業種はGICS(世界産業分類基準)の産業分類によるものです。

・上記は、2018年4月27日時点における当ファンドの組入上位10銘柄についてご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■運用方針は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉

## ファンドの目的・特色

## 【ファンドの目的】

信託財産の成長を目指して運用を行います。

## 【ファンドの特色】

## 1 世界主要先進国市場の医療関連企業の株式を主要投資対象とします。

- ◆世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス等の医療関連(メディカル関連)企業の株式に分散投資を行います。
- ◆株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。

## 2 徹底したボトムアップ・アプローチ\*を行い、企業の適正価値に対して株価が割安と判断する銘柄に投資します。

- ◆収益性や財務内容に加え、長期的な視点に基づき、新商品の研究開発力、経営戦略、競争力等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ\*を行います。

独自に評価する企業の適正価値に対して、株価が割安であると判断する銘柄に投資します。

\*【ボトムアップ・アプローチ】投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

- ◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。

## 3 ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図の権限を委託します。

- ◆主として医療関連企業の株式に関する運用指図の権限を委託します。
- ◆ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
- ◆医療関連セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。

## 4 年1回の決算時(8月27日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- ◆分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## ■ファンドのしくみ:ファミリーファンド方式により運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

<当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド>世界メディカル関連株式オープン マザーファンド

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



三井住友信託銀行株式会社  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号  
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

■設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会



## 世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉

## 投資リスク

## ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。  
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

## ●株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

## ●為替変動リスク

当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資します(ただし、これらに限定されるものではありません。)。外貨建資産に投資を行いますので、投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く(円安に)なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

## ■その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

## 【本資料で使用している指数について】

先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド ヘルスケア インデックス

MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

先進国株式:MSCI ワールド インデックス

MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

GICS(世界産業分類基準)について

Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

## 世界メディカル関連株式オープン 〈愛称:医療革新〉

## 手続・手数料等

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※三井住友信託銀行でお申込みの場合

## ■ お申込みメモ

## 【購入時】

- 購入単位 1万円以上1円単位
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

## 【換金時】

- 換金単位 1口以上1口単位または1円以上1円単位
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

## 【申込について】

- 申込不可日 ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・換金はできません。
- 換金制限 当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。

## 【その他】

- 信託期間 2024年8月27日まで(2014年9月8日設定)
- 繰上償還 当ファンドの受益権の総口数が、10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
- 決算日 毎年8月27日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針としています。)販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
- 課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

## ■ ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。	
		購入代金	手数料率
		1,000万円未満	3.24%(税抜 3.00%)
		1,000万円以上1億円未満	2.70%(税抜 2.50%)
		1億円以上	2.16%(税抜 2.00%)
	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額	
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に応じて以下の率をかけた額	
		純資産総額	信託報酬率
		200億円以下の部分に対して	年率2.160%(年率2.000%(税抜))
		200億円超の部分に対して	年率1.836%(年率1.700%(税抜))
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても当ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。  
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 【本資料に関するご注意事項】

- 本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。